

I

出典 石黒浩「ロボットとは何か」(講談社 2009年)

人がいる環境で人と関わるロボットを開発することと、その過程で「人間理解」が重視されるということについて説明した文章です。接続詞「すなわち」や言い換えを手がかりとすれば、情報を整理しながら理解することができるはずです。

問1【漢字の書き取り問題】(解答番号は 1 ~ 5)

a 考慮、b 臨場感、c 訴、d 稼働(動)、e 鑑がそれぞれ正答です。部首の乱れ、字形・字体のバランスの崩れがないように書き取りましょう。全問正答は全受験者の5%でした。

問2【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】(解答番号は 6)

正答は①です。それぞれ空欄前後の内容、直後の指示語、接続詞がヒントになります。正答率は80%でした。

問3【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】(解答番号は 7)

正答は⑥です。各分野の断片的な知識はあるが、全般的な知識はほとんどないという内容を理解することにより正答が導けるはずですが、正答率は66%でした。

問4【空欄補充・文脈理解】(解答番号は 8)

正答は①です。空欄 **X** の1行前に「工学的な知識を加える」と説明されています。正答率は93%でした。

問5【空欄補充・文脈理解】(解答番号は 9)

正答は⑤です。直前の「すなわち」で言い換えられた内容と空欄直後の内容から、人間が「利用」する物という正答が導けます。正答率は59%でした。

問6【空欄補充・文脈理解】(解答番号は 10)

正答は②です。空欄直後の「言い方を換えれば」以下に、新しい技術開発が「人間理解」を伴うということが述べられています。正答率は71%でした。

問7【空欄補充・文脈理解】(解答番号は 11)

正答は⑤です。空欄直前の「言うなれば」と直後の「次のように言い換えられるかもしれない」がヒントになります。正答率は65%でした。

問8【空欄補充・文脈理解】(解答番号は 12)

正答は⑤です。空欄 **エ** で示される「人とのかわり」は、空欄 **エ** の2つ後の段落で「メディア」をキーワードとしながら説明されています。④の「人間の存在」は「擬人化」の説明に当たらないため不正解です。正答率は23%でした。

問9【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は 13)

正答は⑤です。傍線部Aの直後の内容から正答が導けます。正答率は64%でした。

問10【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は 14)

正答は④です。「新しい技術開発」は空欄 **イ** の直前でも説明されています。正答率は

32%でした。

問11【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **15**）

正答は⑥です。1つ前の段落の内容がヒントになります。正答率は68%でした。

問12【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **16**）

正答は③です。傍線部の前後から正答を導けるはずで、正答率は78%でした。

問13【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **17**）

正答は⑤です。傍線部の1つ前の段落から正答を導けます。正答率は85%でした。

問14【内容合致問題】（解答番号は **18**・**19**）

正答は③・⑨です。③は第10段落から、⑨は第13・14段落からそれぞれ正答を導くことができます。完全正答率は84%でした。

II

出典 正高信男「ケータイを持ったサル」（中央公論新社 2003年）

人間が私的空間から公共の場（社会）に出て行くことについて、サルと人間とを比較し、その相違点を述べ、社会で話題となった事例の原因を論じようとした文章です。キーワードが何であるかを把握することで文章内容も捉えやすくなります。これと同時に客観的に読む訓練をするようにしましょう。

問1【漢字の書き取り問題】（解答番号は **20**～**26**）

a 隣接、**b** 不承（請）不承（請）、**c** 抽出、**d** 隆盛、**e** 雑踏、**f** 魅惑、**g** 郷愁がそれぞれ正答です。「不承不承」は不出来でしたが、これ以外は書き取りの頻出問題だと考えてもよいでしょう。文脈を押さえ、書き取りの練習をしていれば、書き取り問題は「確実」に点数アップできます。日頃から練習をしておきましょう。全問正答は全受験者の1%でした。

問2【空欄補充問題・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は **27**）

空欄 **I** は3行前にある「人間が社会生活を豊かにする」がヒントです。正答は②です。

③「成人化」を選択する誤答が目立ちました。正答率は44%でした。

問3【空欄補充問題・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は **28**）

空欄 **II** は、メスザルに触れている文脈です。メスザルがどのように家族と接しているかを押さえれば、正答の⑥が導けます。正答率は78%でした。

問4【空欄補充問題・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は **29**）

空欄 **III** は、直前にある「私的領域からは排除される」を言い換えており、そこから正答が④であるとわかります。正答率は64%でした。

問5【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **30**）

正答は⑤です。2行前にヒントがあります。正答率は79%でした。

問6【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **31**）

正答は③です。メスのサルが近くにいる理由は、数行前に書かれています。正答率は53%でした。

問7【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **32**）

本節最後の段落に、傍線部の理由が書かれており、正答は⑤だとわかります。②を選択した受験生が目立ちました。②は「家庭外は他者と休息する場所」というところが誤りです。正答率は43%でした。選択肢と本文とを照らし合わせて考えることが重要です。

問8【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **33**）

正答は⑤です。傍線部Dの数行前に「最大の機能」と記されていることがヒントになります。正答率は58%でした。

問9【指示内容に関する問題】（解答番号は **34**）

2行前にある記述がヒントとなり、正答は①です。正答率は65%でした。

問10【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **35**）

正答は③です。傍線部Eを含む段落内容を丁寧に押さえれば正答は容易に導けるでしょう。正答率は85%と高くなりました。

問11【小見出し】（解答番号は **36**）

本節では、なぜ引きこもるかということを中心に書かれていますので、正答は⑦です。正答率は22%でした。①を選択した受験生が多く見受けられましたが、単に「靴下」だけでは正答とはなりません。

問12【内容合致問題】（解答番号は **37**・**38**）

正答は⑦と⑨です。完全正答率は22%でした。①は「きょうだい以外」が、②は「社会活動をとおして親のコピーの領域から脱却しようとするライフスタイルを構築できる点」が、③は「サルとは相反する傾向をたどっている」が、④は「若年層から老年層へと日本社会に広がり」が、⑤は「社会に貢献するための自己実現を何らかの形で達成したいという欲望」が、⑥は「後者はひとりでしか食事を摂れない」が、⑧は「オスのサルは自分の生まれた集団から頻繁に離れ」が本文の内容に合致しない記述となります。解答時間が限られる中、本文の内容を丹念に確認しつつ解答する訓練を積みましょう。